

経済学部（経済数理学科・現代経済学科 共通）

2024 年度 AO マルデス入試 二次審査課題

成蹊大学 経済学部

2023/10/25

1. 二次審査の内容

二次審査は約 25 分間の個人面接試験（発表・質疑応答審査）です。課題の文献資料を正確に理解・分析し、それをもとに自分自身の考えを表現する力を審査します。審査は次の 3 つの内容で構成されます。

- ① 文献資料の内容と自身の考えをまとめた発表要旨（レジュメ）にもとづくプレゼンテーション（最長 10 分間）
- ② プrezentationや文献資料の内容に関する 5～10 分程度の質疑応答
- ③ 志望理由や活動歴などについての 5 分程度の質疑応答

2. 課題となる文献資料

国際決済銀行(BIS)の Annual Economic Report 2022, Chapter I. “Old challenges, new shocks”から、物価高と世界経済の動向を扱った以下の部分。

- 冒頭の“Key takeaways”およびそれに続く部分（1 ページ～2 ページの 9 行目）
 - “The year in retrospect, Global growth loses momentum as inflation returns”に続く部分（2 ページ～9 ページの 16 行目、ただし 6 ページ～7 ページの Box A は除く）
 - “Stagflation: how high are the risks?”に続く部分、“A new inflation era?”に続く部分、ならびに“The war in Ukraine”に続く部分（12 ページ～15 ページの 16 行目）
 - “Rebooting the supply side”に続く部分（28 ページ～30 ページ）
- 文献資料は、以下のウェブサイトから閲覧・入手可能です。
<https://www.bis.org/publ/arpdf/ar2022e1.pdf>
- 文献資料に登場する専門的な用語の一覧（用語集）が下記 6 にあります。適宜参考にしてください。

3. レジュメおよび発表について

- 上記 2 の文献資料について、レジュメを日本語で作成してください。
 - レジュメの作成については「AO マルデス入試要項 2024」の 15 ページ以降をご確認ください。
 - プrezentationはレジュメにもとづいて行います。
- 上記 2 の文献資料、レジュメおよびメモやノートを手元に置き、参照しながら発表することが可能です。なお試験中、デジタルデバイス（スマートフォン・パソコン等）の使用は認めません。
- 文献資料は質疑応答審査の際に使いますので、必ず印刷してお持ちください。

4. レジュメの提出方法について

- 二次審査には、発表用のレジュメを、必ず 3 部持参してください。3 部の内、1 部は発表時に使用する自分用とし、残りの 2 部を面接担当教員に渡してください。

5. 問い合わせ先

成蹊大学アドミッションセンター 経済学部担当
TEL : 0422-37-3533
Mail : nyushi@jim.seikei.ac.jp

6. 用語集

- ・ 国/地域の略称 (AEs 先進国、EMEs 新興国、US 米国、EA ヨーロ圏、JP 日本、CN 中国、RU ロシア)
- ・ backdrop 背景
- ・ loom large 大きく迫る
- ・ disrupt 混乱させる
- ・ pressing 緊急の
- ・ reignite 再点火する
- ・ repercussions 影響
- ・ momentum モメンタム、勢い
- ・ relative prices (他のものと比較した) 相対価格
- ・ policy tightening (物価高を抑えるための) 引き締め的な政策
- ・ resemblance 類似
- ・ stagflation スタグフレーション (インフレーションと景気後退が同時に起きること)
- ・ imperative 責務
- ・ bolster 支える
- ・ accommodative fiscal and monetary policy 緩和的な財政・金融政策
- ・ buoyant 上昇傾向の
- ・ terms of trade 交易条件 (輸出財の価格を輸入財の価格で割った値)
- ・ soar 急上昇する
- ・ central bank targets 中央銀行の物価目標 (多くの先進国では 2% の物価上昇率を目標とする)
- ・ flare-up 突発
- ・ confluence 重なり、複合
- ・ pave the way 地ならしする
- ・ bounce back 立ち直る、回復する
- ・ year-on-year (yoY) 前年同期比の
- ・ core goods 食料品・エネルギーを除いた財
- ・ nominal GDP 名目 GDP (物価変動の影響を含んだ国内総生産)
- ・ real output 実質産出量 (物価変動の影響を除いた生産)
- ・ furlough 一時帰休
- ・ rotation 回転
- ・ aggregate demand 総需要
- ・ spare capacity 予備容量
- ・ semiconductor 半導体
- ・ policy rate 政策金利
- ・ subdued 抑制された

- forward guidance フォワード・ガイダンス（政策の先行きに対する見通し）
- the Federal Reserve 連邦準備（米国の中央銀行）
- federal funds rate フェデラル・ファンド・レート（米国の政策金利）
- basis point ベーシス・ポイント（パーセント・ポイントの 100 分の 1）
- interest rate 利子率、金利
- ECB 欧州中央銀行
- ex post 事後的な
- fiscal consolidation 財政再建
- entrenchment 確立（定着）していること
- imprint 痕跡
- inflation expectation インフレ予想
- jurisdiction 区域
- indexation 物価スライド
- consumption basket 消費バスケット（消費される様々な財・サービスの構成比のこと）
- reboot 再起動する

以上